

総じて、第一回目のすべての報告に関して、刺激を受けたり、新しい知見をうれしく思ったり、自分のテーマ設定に役立つところを見出したりと、感想・評価がポジティブであった。これこそ、私の期待したことである。

各人の問題意識、テーマ設定、アプローチの多様性から、他の人がそれぞれの人の問題関心や準備状況に応じてさまざまなことを学び、今後の期末論文作成に活かせるだけでなく、卒業論文、社会に出てからの課題論文作成に活かすことができると思われる。

1. ポンペイの壁画、イギリスとEUの関係、フランスの移民問題、ヨーロッパの交通問題、一人一人異なるテーマだからこそすべてに興味湧き、発表を聞いていても面白かった。(これと同じような感想が非常に多かった。その意味で代表的感想といえよう。)
2. 今までヒトラーやホロコースト、ソ連の社会主義など学問的に見て興味があったテーマにしようと考えていましたが、先生が紹介して下さった『教養のドイツ現代史』のはしがきを読んで、『アルプスの少女ハイジ』やドイツで見た「アンペルマン」などから体系的に調べることができると知り、とてもワクワクしてきました。
3. 中間報告を聞いて、動機、レポートの構成、焦点が非常によく考えられていると感じた。
4. 皆のテーマがどんなものであり、どんな構造で展開していくのかを知れてよかった。自分のテーマ決めの参考にしたい。…最近のトピックであるイギリスのEU離脱のプレゼンは非常にとっつきやすいと感じた。
5. 今日の発表で一番気になったのはポンペイです。
6. それぞれ非常に興味深い内容ばかりで、EU離脱問題やフランスのテロ事件などタイムリーな問題は、過去の歴史をさかのぼることで見えてくることがあり、逆に今後どうなっていくのかなど、いろいろ気になった。私もタイムリーな問題について考えてみようかと思った。また、ポンペイ壁画展mに行ってみたいと思った。
7. 他の人がどういった意見をもって最終レポートの構想を建てているのかということ、中間報告を聞いて、これまでになかった発想が浮かんでくるため、今回の発表はとても参考になりました。田中さん→歴史における出来事と現代を結びつけるやり方にとっても面白さを感じた。篠原さん→ホットな話題をサッチャリズムと結びつけ比較する。参考にしたいです。
8. 第一週目にして、みなさんしっかりと構成が練られていて、すごいなあと感じてしまいました。
9. 戦後の西ドイツと日本の比較をしてみたい。
10. 「WWII=ヒトラーの戦争」とよくとらえられていて、しかし事実そうではないので、WWIIから冷戦への過程を調べようと思った。移民についても調べようと思っている。調べるうえで杉原千畝のこととかを参考にしたい。一般的にはあまり良いんじゃないので、それを分析してみようと思った。
11. 皆、テーマが大きく、対象国も様々で、最後のレポートを読むのが楽しみです。私自身も自分の興味あることに関してレポートを書くのが楽しみです。交通に関するレポート、特に狭軌があります。私も2か月間ヨーロッパ内を旅行した際、たくさん高速鉄道を利用。6時間以上の移動も多くありましたが、本当に快適でした。
12. 皆さんのプレゼンテーション能力がとても素晴らしく、知識がないテーマに関してとても分かりやすく発表されていたので、とてもワクワクした講義でした。